

## 令和4年度あいちラーニング推進事業研究報告書

学校番号 13

学校名 愛知県立 昭和 高等学校

校長氏名 川 合 貴 也

研究責任者職・氏名	教頭・久田 恒夫	事務担当者職・氏名	主任・遠山 未来
研究テーマ	「自ら考え、ともに伝えあう学びの実現」～学び続ける生徒の育成～		
本年度の研究目標	(1) 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善 (2) ICTを有効に活用した授業実践 (3) 観点別評価の具体的方法、評価の結果をその後の指導へ生かす方法の探究		
研究の実施内容			
実施月日	内 容		備 考 (対象生徒等)
7月20日	愛知県立大学を訪問し、大貫守准教授と研究の進め方について打合せを行った。(川合校長、久田教頭、赤井教諭)		本校教員                名古屋市立高等学校教諭、近隣中学校教諭
8月1日	名古屋市立桜台高等学校で行われた大貫准教授の講義を見学した。(川合校長、久田教頭、勝川教諭)		
8月2日	第1回名古屋地区連絡協議会を開催 重点校の惟信高等学校、中村高等学校、緑丘高等学校とともに、今年度の研究計画について打ち合わせた。		
9月21日	愛知県立大学大貫准教授による講義を実施した。 演題「教育評価の理論と具体的方策」 重点校から惟信高等学校の木村先生が参加		
11月2日	重点校緑丘高等学校の研究授業を参観した。(川合校長)		
11月10日	重点校中村高等学校の研究授業を参観した。(久田教頭)		
11月15日	重点校惟信高等学校の研究授業を参観した。(川合校長、久田教頭)		
11月16日	公開研究授業と研究協議会を開催 公民科 勝川浩次教諭、理科 伊藤嘉章教諭、英語 箕浦麻里教諭が研究授業を実施。 研究協議会助言者 愛知県立大学大貫守准教授、天白高等学校地福真紀子教頭(公民科)、総合教育センター久保優一研究指導主事(理科)、愛知県教育委員会ICT教育推進課堀場雅博指導主事(英語) 大貫准教授からは助言に加えて、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けての講義を受けた。		
12月23日	第2回名古屋地区連絡協議会を開催 重点校の惟信高等学校、中村高等学校、緑丘高等学校とともに、今年度の研究のまとめを行い、緑丘高校については来年度の計画を打ち合わせた。		
1月24日	学校評議員による研究成果の評価を実施		

## 研究成果の評価及び普及・還元に関する実績

9月に実施した大貫准教授の講義は多くの示唆に富み、本校が整備すべき学習評価の在り方について、教員間の共通理解を得ることができた。

11月に実施した研究授業については、実施後の研究協議において活発な質疑応答が行われ、助言者の先生方からも、それぞれの授業について高い評価を得ることができた。「生徒の主体的な学び」を実現する方法や、その成果を見取ることができる評価方法について見識を深めることができた。校外からも名古屋市内の高等学校を中心に30名の先生方に参加をいただいた。

1月に実施した学校評議員による評価においては、主体的・対話的で深い学びの実現を目指す本校の取組に対して高い評価を得た。一方で、中学校での学習を大学での学びに結びつけることができるように主体的な学びの充実に向けて更に研究を進めるよう助言があった。

今年度の研究成果は、本校の公式ホームページに掲載することによって普及・還元を図る。

来年度の研究に向けては、観点別評価の更なる充実と指導へ還元する方法について、各教科での研究を進めていく。